

令和5年2月18日

葛飾区教育委員会事務局
学校環境整備担当課

「葛飾区学校適正規模等に関する方針」東四つ木地域説明会資料

1 概要

学校教育においては、児童・生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、社会性や規範意識を身に付け一人一人の資質や能力を伸ばしていくことが重要です。

そのために、本区における学校の適正規模や、適正規模を維持するための対応策について検討を進めるため、学識経験者や小・中学校の校長及び副校長を委員とする葛飾区学校適正規模等検討委員会を設置し、議論を重ねてきました。この度、葛飾区学校適正規模等に関する方針がまとまりましたので報告いたします。

2 「葛飾区学校適正規模等に関する方針」

別添の概要版により説明いたします。

3 児童・生徒数の推移

(1) 1校当たりの学校規模

本区における学級数、児童・生徒数を学校数で割り返すと、1校当たり平均の学級数、児童・生徒数は以下のとおりとなります。

【小学校】

	学校数	学級数	児童数	1校当たり平均	
				学級数	児童数
1977(昭和52)年 児童数のピーク	52	1,052	40,022	20.2	770
2022(令和4)年 現在	49	697	20,225	14.2	413

【中学校】

	学校数	学級数	生徒数	1校当たり平均	
				学級数	生徒数
1977(昭和52)年 生徒数のピーク	22	432	17,212	19.6	782
2022(令和4)年 現在	24	258	8,597	10.8	358

※各年度5月1日時点の通常学級（普通学級）における学級数・児童生徒数

(2) 東四つ木地域の児童・生徒数の状況

	木根川小学校		渋江小学校		中川中学校	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	生徒数
令和4年	6	81	11	288	6	176
令和14年(推計)	6	36	12	234	4	108

※令和4年は、令和4年5月1日時点の学級数、児童・生徒数

※令和14年の学級数、児童・生徒数は現行の通学区域に基づいて、以下のとおり推計した。

- ①通学区域別の住民基本台帳登録者数(令和4年8月1日時点)を基礎人数とし、基本計画における年少人口推計の減少率を参考に、今後の児童・生徒数を見込んだ。
- ②各学校別の就学率(令和2～4年実績の3年平均値)により、児童・生徒数を見込んだ。

4 今後の対応について

葛飾区学校適正規模等に関する方針を踏まえた上で、学校適正規模の取組を進めてまいります。

東四つ木地域の児童・生徒数は減少傾向にあり、令和4年度現在、木根川小学校は全学年単学級、渋江小学校では一部の学年で単学級が生じております。また、中川中学校は、将来的に単学級が生じる可能性があり、今後、東四つ木地域における学校の適正規模に向けた取組の検討を進めてまいります。

4月には保護者説明会を開催するとともに、木根川小学校、渋江小学校及び中川中学校の学校評議員など地域代表者から組織する(仮称)東四つ木地域学校適正規模検討懇談会を設置し、皆さまのご意見を伺いながら、東四つ木地域における学校教育環境の充実に向けた検討を進めてまいります。

令和5年2月 葛飾区学校適正規模等に関する方針の東四つ木地域説明会の開催

4月 東四つ木地域学校適正規模保護者説明会の開催

4月 (仮称)東四つ木地域学校適正規模検討懇談会の開催

・「学校適正規模等に関する方針」地域説明会アンケート
本説明会の感想やご意見等ございましたら、web入力
フォームからご記入ください。

※入力期間：令和5年2月28日(火)まで

